

2006年1月1日～2023年1月31日の間に
川崎医科大学附属病院および川崎医科大学総合医療センターにおいて
肝細胞癌と診断され肝切除の施行を受けられた方及びご家族の方へ

—「肝発癌バイオマーカーとしてのミトコンドリアフェリチンの有用性」
へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学	消化器内科学	教授	仁科惣治
研究分担者	川崎医科大学	消化器内科学	特任研究員	日野啓輔
	川崎医科大学	消化器内科学	特任研究員	原 裕一
	川崎医科大学	消化器内科学	講師	吉岡奈穂子
	川崎医科大学	消化器外科学	教授	上野富雄
	川崎医科大学	消化器外科学	講師	岡田敏正
	川崎医科大学	総合内科学2	准教授	川中美和

1. 研究の概要

肝細胞癌の治療法は確立されており、新しい治療法も日々開発されていますが、再発を繰り返し、決して予後は良いとは言えません。以前は肝細胞癌がC型肝炎ウイルス感染に由来するものが最も多く、病気のスクリーニングは比較的容易でした。

近年抗ウイルス薬の進歩によりC型肝炎患者の減少のため肝細胞がんの原因が不明であることも多く、肝細胞癌スクリーニングは以前に比べて容易ではなくなりました。このため簡単に肝細胞癌を検出できるバイオマーカーの開発は急務であると考えられます。我々はこのバイオマーカーの候補としてミトコンドリアフェリチン（FTMT）を同定しました。

本研究の目的はミトコンドリアフェリチンがバイオマーカーとして有用であるか否かを検討することです。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2006年1月1日～2023年1月31日の間に川崎医科大学附属病院および川崎医科大学総合医療センターにおいて肝細胞癌と診断され、肝切除の施行を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

3) 研究方法

上記の研究対象期間に川崎医科大学附属病院および川崎医科大学総合医療センターにおいて肝細胞癌と診断され、肝切除の施行を受けられた方で、研究者が診療情報と病理診断結果をもとに研究に適した症例を選びます。さらに病理検体を免疫染色し、ミトコンドリアフェリチンの出現と肝細胞癌につながる肝線維化の進展について関連性を検討します。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、血液検査の結果 等

試料：病理標本、血液

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学肝胆膵内科学内で保存させていただきます。試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくく点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023 年 2 月 28 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 消化器内科学

氏名：仁科惣治

電話：086-462-1111 内線 26501（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

E-mail：f018ep@med.kawasaki-m.ac.jp

川崎医科大学総合医療センター 総合内科学 2

氏名：川中美和

電話：086-225-2111 内線 85328（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

E-mail：m.kawanaka@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

本研究は、本研究に関係しているギリアド・サイエンス社より奨学寄附金の受入があり、これを研究資金として利用します。

本研究を実施するにあたり、上記の内容を含め、本研究に携わる研究者はギリアド・サイエンシズ社に
関係する利益相反の内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されていま
す。

また、本研究は研究終了後に研究成果を発表いたします。研究成果の発表に際しても、本研究に関
する利益相反について明らかにした上で発表します。